

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上策等＞

(1) 基礎学力の向上と確実な定着

- ① 「ていねいに字を書くこと」「ていねいに話を聴くこと」の継続的指導
 - ・ 重点目標として設定し、学習のための落ち着いた教室環境づくり
 - ・ 各担任が意識して取り組む。話を聴く姿勢の徹底。「ベストノート賞」掲示
- ② 「さわやかタイム」の充実
 - ・ 朝の時間にグローバル・スタディ、国語・算数の学習をモジュールで取ることにより、授業時間の確保に努め、基礎学力の定着を図る。
- ③ 家庭との連携・地域の教育力の活用
 - ・ 「家庭学習カード」の活用による家庭学習の定着
 - ・ 家庭科のミシンボランティアや図書ボランティアによる読み聞かせ等

(2) 教員の指導力向上

- ① 児童一人ひとりの実態に応じた指導と学習規律や学習ルールの徹底
 - ・ TTによる学習指導と個に応じた指導による指導形態の拡充
 - ・ ユニバーサルデザインによる教室環境と学習ルール「三橋の約束」の徹底
 - ・ 三橋小スタンダード・三橋小学校生活ガイドラインに基づき、職員同士での共通理解・共通行動の徹底
- ② 不断の研修や学び合いによる授業力の向上
 - ・ 公開授業の実施とその後の研究協議会の充実・教室訪問による指導。
 - ・ 掲示物の充実による言語環境の整備と児童のよさを認める掲示物の充実。

(3) 教育課程の編成・実施・評価 (PDCAサイクルの実践)

- ① 学校課題「基礎学力向上～国語科を中心に～」の研究
 - ・ 授業ノートの基本モデルを示したり、授業の流れを統一したりし、指導の改善・充実を図る。
 - ・ 学年ブロックごとに研究授業を実施し、授業力向上を図る。
- ② 質や時数の確保と小・中一貫教育の推進
 - ・ 行事の精選と管理職による授業参観・教室訪問の実施。
 - ・ 中学校と連携し、中学校教員が6年生を対象に授業を実施。

＜本年度の振り返り＞

成果：基礎学力向上を図るため、ていねいに字を書くこと・聴くことを常に意識させることに加え、じっくり考えることを重点に置き、授業を実践してきた。また、さわやかタイムを充実させたり、家庭学習の推進をしたりしてきた結果、市学習状況調査では、昨年度の結果と比較すると多くの学年で向上が見られた。

課題：今年度の学校課題研修で取り組んだ国語科では、「読むこと」「書くこと」の観点の市の平均と比べ、課題が見られた。来年度は国語科を中心にさらに研修を進め、質の高い授業を提供していけるように不断の研修に努めていく。

